

## 第20回 第2章 現代の経済

### 第2節 現代経済のしくみ

# 生産のしくみと企業

講師  
升野伸子

#### 学習のねらい

今回のテーマは、「生産のしくみと企業」です。私たちの生活は、企業と大きくかかわっています。企業の生産活動のしくみを知ることによって、私たちが見たり聞いたりするものが、企業や生産活動のどの機能と関係しているのか、理解していきましょう。

調べておこう  
覚えておこう

配当金／資金／株式／設備／減価償却／有限責任／  
代表取締役社長／所有と経営の分離／ホールディングス／  
コンプライアンス／ディスクロージャー／多国籍企業

※下記の空欄 \_\_\_\_\_ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

#### POINT 1

### 企業のしくみと活動は？

- 企業は、生産活動を行うために、まず ① \_\_\_\_\_ を用意します。そしてそれを、原材料費や ② \_\_\_\_\_ 費、人件費などに換えて、製品を作ります。製品を売ってお金にして、それが次の生産の①となります。
- ②費は、一度の生産では回収できないので、企業は生産活動を続けていく必要があります。
- 設備は何年も使えますので、かかった費用を一度に清算せずに、何年かに分けて費用として計算するという考えをとります。この考え方のことを ③ \_\_\_\_\_ といいます。
- 企業の中には、大きな企業や、生産と販売が分かれている企業、技術の研究をしている企業もあります。しかし、その基本的なしくみは、小さな企業も大きな企業も変わりません。

#### POINT 2

### 株式会社

- 企業を始めるには、大きな費用がかかります。これを、小さな金額に分割して、たくさんの人から集めるしくみを、④ \_\_\_\_\_ 会社といいます。たとえば1,200万円を集める場合、1株1万円などの④を1,200株発行します（1株は何円でも構いません）。④を買った人を株主といい、株主は会社の所有者となります。株主は会社の利潤の一部を ⑤ \_\_\_\_\_ として受け取ります。
- 会社の所有者である株主が集まって、経営者や経営方針を決める会のことを、株主総会といいます。株主総会では、会社の代表者で経営者でもある ⑥ \_\_\_\_\_ などの役員を決

めます。

- このように、会社の所有者と経営者が同じとは限らないことを、<sup>⑦</sup>\_\_\_\_\_ といいます。
- 株主は、会社が倒産したとき、すべての責任を負うのではなく、自分の出資した金額が戻ってこない、つまり、自分の出資した金額だけの責任をとります。これを<sup>⑧</sup>\_\_\_\_\_ といいます。

**POINT 3**

**現代の企業**

- 海外に現地企業をつくって、国境を越えて活動を行う企業のことを、<sup>⑨</sup>\_\_\_\_\_ といいます。
- 会社が合併するときなど、その会社の上に、それらの会社の株式を持つ会社をつくり、実質的に合併することがあります。このような持株会社のことを、<sup>⑩</sup>\_\_\_\_\_ と呼んだりします。
- 企業も社会の一員ですから、きまりを守るという意味での<sup>⑪</sup>\_\_\_\_\_ や、情報を開示する<sup>⑫</sup>\_\_\_\_\_ などが求められます。このように、企業の社会的責任を果たすことは、企業が存続していくためにも大切なことです。このような考え方は、「持続可能な経済活動」のためにも必要なのです。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

答え

①資金 ②設備 ③減価償却 ④株式 ⑤配当金 ⑥代表取締役社長 ⑦所有と経営の分離  
 ⑧有限責任 ⑨多国籍企業 ⑩ホールディングス ⑪コンプライアンス ⑫ディスクロージャー